

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	7013-3
-----------	-----------	--------

事務事業名	病院事業会計(介護老人保健施設ゆりの里)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
市立病院事務局	ゆりの里(総務室)	杉田 平	61-1155
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 12 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉
	小施策	3	保健福祉サービスの充実
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード
病院事業会計	(中事業名)
款	
項	(小事業名)
目	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>・施設介護サービス(入所) 介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰をするために、医師による医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、作業療法士や理学等によるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などの提供を実施。・通所リハビリテーション 要介護者に「ゆりの里」に通ってもらい、理学療法、作業療法、その他必要なりハビリテーションを実施。・短期入所療養介護 短期入所してもらい、看護、医学的管理下における介護や機能訓練、その他必要な医療や日常生活上の世話をを行う。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>看護・介護・リハビリテーションなどを必要とするお年寄りの方々に適切な医療サービスを行い、自立を支援し、家庭生活への復帰をめざすとともに、居宅介護支援事業者等と連携を取りながら在宅生活を支えることを目的としています。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画	施設利用サービス(入所者数)在所要延べ人数 14,934人(通所者)年間延べ人数 1,598人(短期入所者)年間延べ人数 244人	施設利用サービス(入所者数)在所要延べ人数 17,155人(通所者)年間延べ人数 1,936人(短期入所者)年間延べ人数 329人	補助金・交付金	その他 ()		
			平成23年度(計画)	平成24年度(計画)	平成25年度(計画)	
			施設利用サービス(入所者数)在所要延べ人数 17,155人(通所者)年間延べ人数 1,936人(短期入所者)年間延べ人数 329人	施設利用サービス(入所者数)在所要延べ人数 17,155人(通所者)年間延べ人数 1,936人(短期入所者)年間延べ人数 329人	施設利用サービス(入所者数)在所要延べ人数 17,155人(通所者)年間延べ人数 1,936人(短期入所者)年間延べ人数 329人	
事業費(千円)	113,473	118,174	118,174	118,174	118,174	
の 財 源 内 訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他()	66,492	109,698	109,698	109,698	109,698
一般財源	46,981	8,476	8,476	8,476	8,476	
人工数	職員(人)	10.50	11.50	11.50	11.50	11.50
	臨時職員等(人)	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00
人件費(千円)	157,623	160,282	160,282	160,282	160,282	
総費用+(千円)	271,096	278,456	278,456	278,456	278,456	

人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	-	-	-	-	52.0
	実績		50.1	54.3			
活動指標	目標	人	-	-	17,155	17,155	17,155
	実績		14,091	14,934			
活動指標	目標	人	-	-	1,936	1,936	1,936
	実績		1,682	1,598			
考察及び今後の対応方針	利用者が減少している。利用者が増加するよう努める						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
老人福祉施設の増加、介護報酬の改正(平成24年度) 看護・介護職員の確保	

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ) ▼	協働等の主な相手先について ▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) その他(へ) ▼	協働等の今後の取組について 継続実施 ▼
備考欄	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 ▼	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である ▼	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行どおり)(理由 (2)へ) ▼	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 老健施設として民営化も視野に入れて考えていく必要があるが、病院経営との関連がある中で、現状では、公的機関としてのメリットを生かしながら、運営を持続するのが最良と考えます。	